



三浦 義光 議員
政新会

問 新年度の農業施策は

答 地域社会の活性化に貢献



▲デジタル田園都市
国家構想

問 令和4年度を迎え、中期的な展望を加味し、市内農業施策について以下を問う。

問 稲作を含め、新しい農地利用について市長の見解を。

答 (市長) 新しい農地利用としての体制を、関係機関と共に進めていきたい。

問 海部南部地域農業再生協議会において、水田リノベーション事業とは。

答 (農政課長) 米価減少、売上減の中、低コストで省力化の取り組みを行う。

問 デジタル田園都市国家構想のなかで、スマート農業への考え方は。

答 有効な手段の一つではあるが、現在は考えていない。



▲市内稲作風景

問 新年度において、認定農業者向け農業経営基盤維持交付金の拡充を。

答 国の臨時交付金を踏まえ、真に必要な事業者に対し、引き続き支援を考えている。

問 通常国会に提出されている、土地改良法改正への対応は。

答 土地改良事業団体連合会と調整を図り、効率的な運営に取り組んでほしい。

問 市長総括を。

答 (市長) 地域社会の活性化に貢献していきたい。

問 燃油高騰による個人事業主への影響は。

答 (商工観光課長) 具体的な相談等はない。

問 厳しい経費上昇による、市内飲食業者への支援は。

答 国が事業復活支援金を実施。

問 物価上昇により事業者へ影響は

答 国や県の対応を注視していく



▲温風暖房機

問 愛知県施設園芸用燃油価格高騰対策支援金の対応を含め、市内農業者全体への周知は。

答 (農政課長) 市ホームページに掲載。

問 市長総括を。

答 (市長) 国が積極的に解決に向けた策を講じていく問題と認識。



▲燃油タンク貯蔵所